

兵庫県 水稲オリジナル品種 名称決定

「コ・ノ・ホ・シ」

令和 7 年 2 月 4 日（火）14 時に兵庫県庁において、兵庫県斎藤知事と福本組合長で、地球温暖化による夏の猛暑で米の品質、収量を改善する兵庫県水稲オリジナル品種「コ・ノ・ホ・シ」が発表されました。

新品種はキヌヒカリの代替品種として平成 28 年から兵庫県と JA グループで共同開発に着手し、9 年間で 1 万種類の候補から絞られました。



1. 特性の比較

項目	コ・ノ・ホ・シ	キヌヒカリ
整粒率※	76.1%	56.6%
葉いもち耐性	強	中
芒の有無	有り	無し
その他	・キヌヒカリ並の収量 ・キヌヒカリより良食味	—

※整粒率：透明で粒張りの良好な、正常な米粒の割合

2. コ・ノ・ホ・シの育成計画

○キヌヒカリに替わるオリジナル新品種（コ・ノ・ホ・シ）の作付案（R7.2月現在）

○令和 9 年産より、キヌヒカリが兵庫県奨励品種外になるため、オリジナル新品種（コ・ノ・ホ・シ）への早期の転換を目指します。

	R7作付面積	R8作付面積	R9年産以降 全面切替予定
兵庫県内	165ha	1,500ha	
JA兵庫西	25ha	300ha	

3. その他品種の育成計画

○現在兵庫県内の主力であるキヌヒカリ、ヒノヒカリ、コシヒカリに替わる新品種を令和 7 年、令和 10 年、令和 13 年にそれぞれ消費者の皆様提供できることを目標とします。

○各品種の育成計画

	H28～R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
キヌヒカリ	研究開発・選抜等			一般栽培						
ヒノヒカリ	研究開発・選抜等						一般栽培			
コシヒカリ	研究開発・選抜等									一般栽培